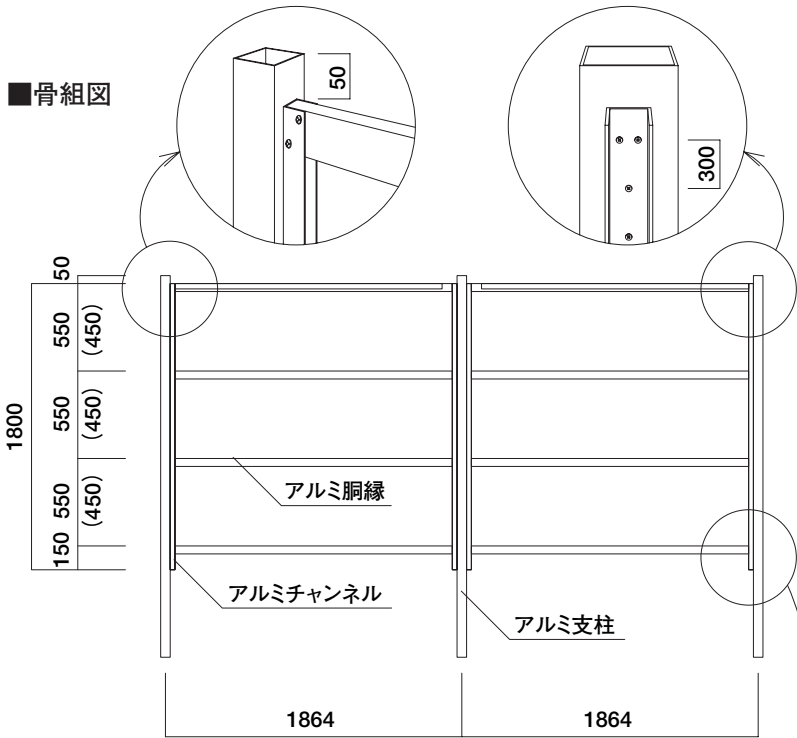


施工資料

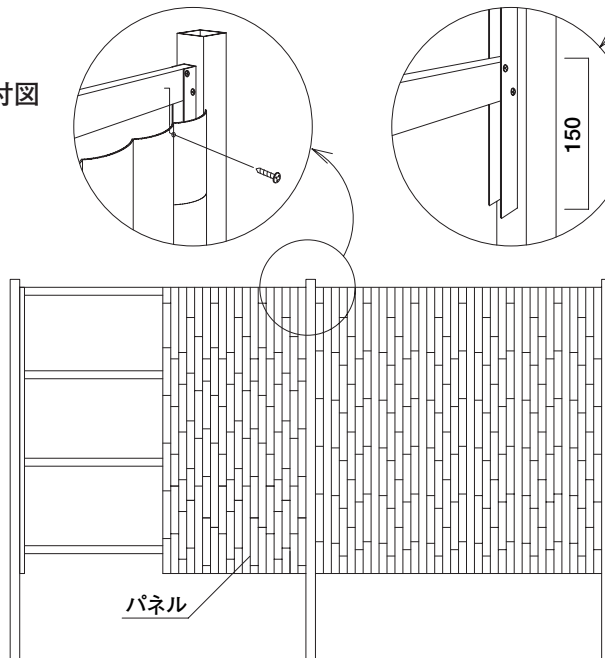
施工説明

竹演セット1 (P72.73) ※竹演セット8.4.9.11も骨組図・パネル取付図は同様です。

■骨組図



■パネル取付図



【竹演セット】

①アルミ支柱(60×60)、アルミチャンネル(丸22用)、アルミ胴縁(23×50)を現場に合わせてカットして下さい。

注:セットのアルミ支柱は2,400mmにアルミ胴縁、アルミチャンネルは1,800mmにカットされています。(H1500時、支柱2,100mmアルミチャンネル1,500mm)

②アルミ支柱中央にアルミチャンネルを取付けて下さい。取付け位置は、アルミ支柱の上から50mmさがった所からです。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。アルミ支柱をモルタル等で固定して下さい。

注:ブロンズビスで直接止めにくい場合、アルミチャンネルにドリルで下穴(5mm)を空け、ブロンズビスで支柱に固定して下さい。

注:300mmピッチ位を目安にビス止めて下さい

③アルミチャンネルの溝にアルミ胴縁を取付けて下さい。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。

注:ブロンズビスで直接止めにくい場合、アルミチャンネルにドリルで下穴(5mm)を空け、ブロンズビスで胴縁に固定して下さい。

注:少なくとも1ヶ所2本のビスで固定して下さい。

④パネルを取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×16を使用して下さい。

注:取付ける際パネルの重ね代が、左側にくるようにして下さい。

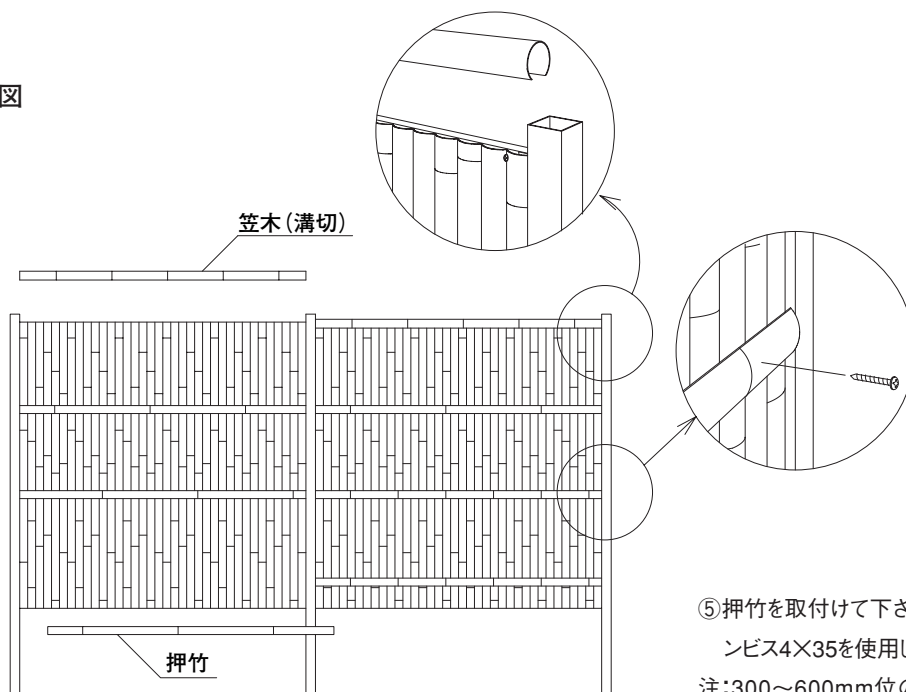
注:パネルの取付けは、竹と竹の谷間に約200mmピッチ位を目安にビス止めて下さい。各胴縁全てに止めて下さい。

注:パネルは温度差により伸縮しますので、必ず余裕穴を空けてから取付けて下さい。

注意:パネルには耳が付いている物と付いていない物があります。片面1スパンに対して1枚の耳なしパネルを使用して下さい。梱包が別になっている場合がある為、注意してご使用下さい。

※竹演セットのアルミ部材や竹材料は、融通性を持たせるため、穴あけ加工は施されていません。現地にて加工してください。

■押竹・笠木取付図

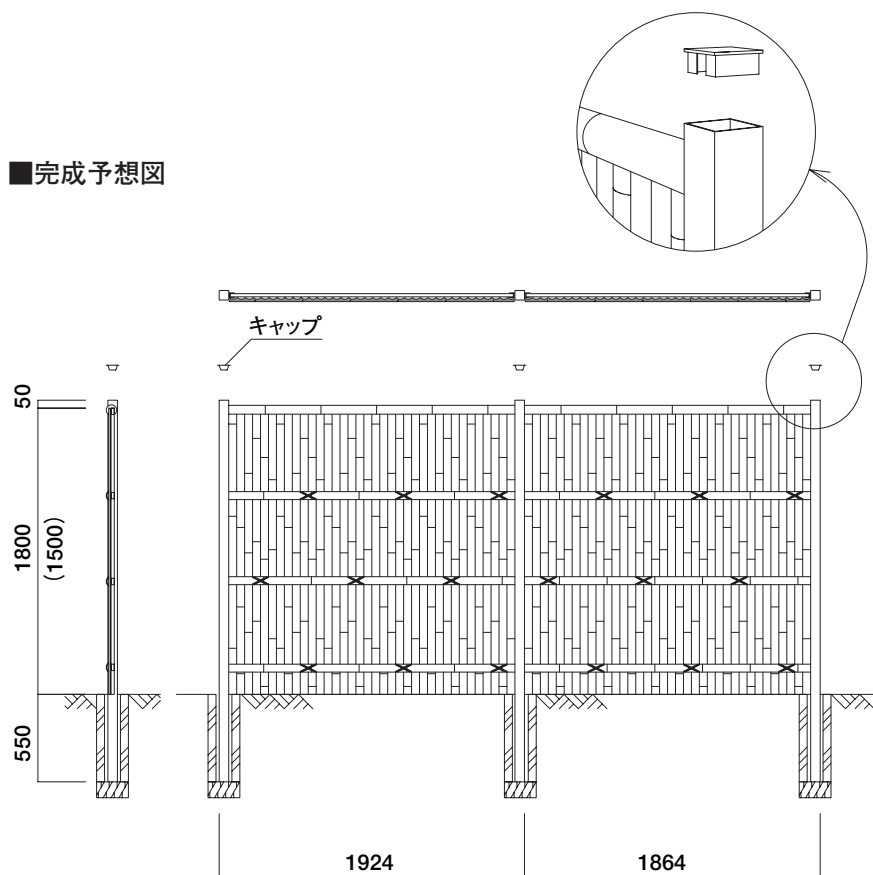


⑤ 押竹を取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×35を使用して下さい。

注:300~600mm位のピッチで止めて下さい。

注:ビス止めした上にバンロープの飾りがきますので、取付け位置に注意して下さい。但し、全てのビス上に飾りがくるわけではありません。

■完成予想図



⑥ 笠木を取付けて下さい。溝切63φを上から取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×35を使用して下さい。

注:600mm位のピッチで止めて下さい。

⑦ バンロープで飾りつけて下さい。注:600mmピッチ位を目安に千鳥になる様飾りつけて下さい。

⑧ アルミ支柱にキャップをはめて下さい。

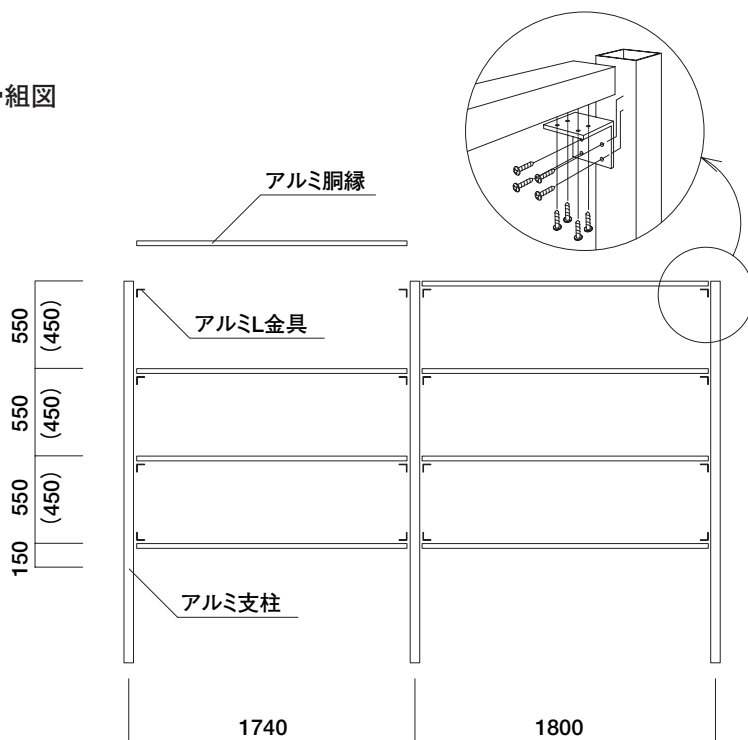
三枚笠仕様の場合、一部部材が異なります。

施工資料

施工説明

竹演セット5 (P74.75)

■骨組図



【竹演セット】

①アルミ支柱(ブロンズ60×60)、アルミ胴縁(ブロンズ30×60)、を現場に合わせてカットして下さい。

注:セットのアルミ支柱は2,400mmにカットされています。又胴縁は基本セットの場合1,680mm、連結セットの場合は、1,740mmにカットされています。(H1500時、支柱2,100mm)

②アルミ支柱にアルミL金具を取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×16を使用して下さい。アルミ支柱ををモルタル等で固定して下さい。

③アルミ支柱に取付けられたL金具にアルミ胴縁を取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×16を使用して下さい。

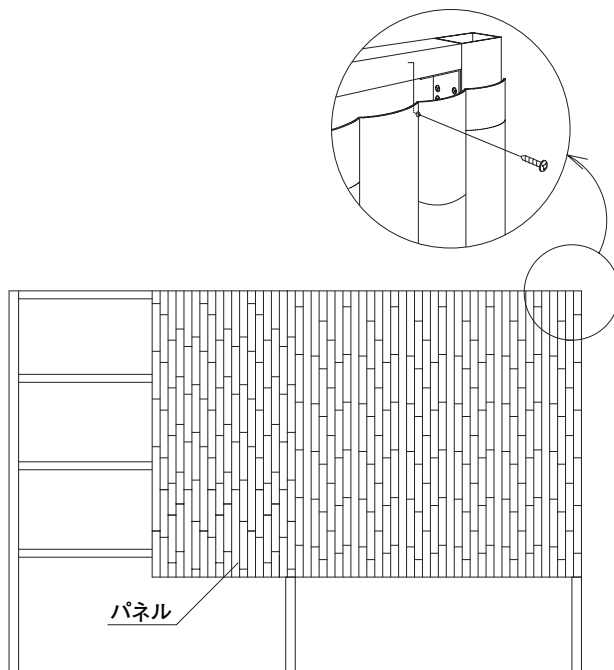
④パネルを取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×16を使用して下さい。

注:取付ける際パネルの重ね代が、左側にくるようにして下さい。

注:パネルの取付けは竹と竹の谷間に約200mmピッチ位を目安にビス止めして下さい。各胴縁全てに止めて下さい。

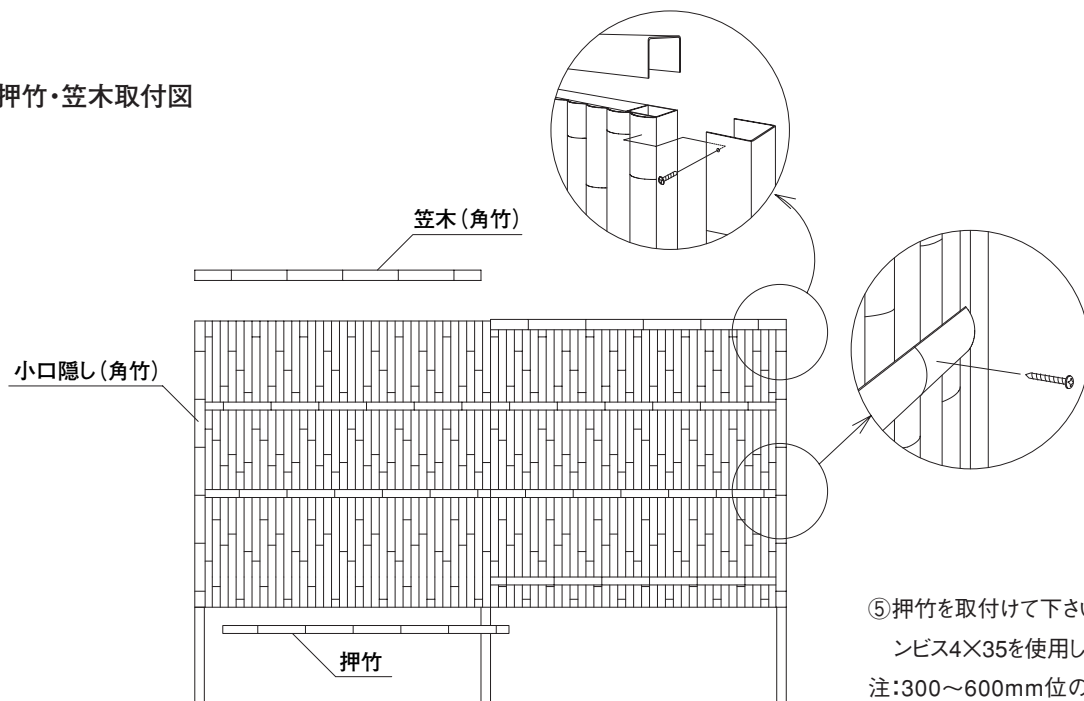
注:パネルは温度差により伸縮しますので、必ず余裕穴を空けてから取付けて下さい。

■パネル取付図



※竹演セットのアルミ部材や竹材料は、融通性を持たせるため、穴あけ加工は施されていません。現地にて加工してください。

■押竹・笠木取付図

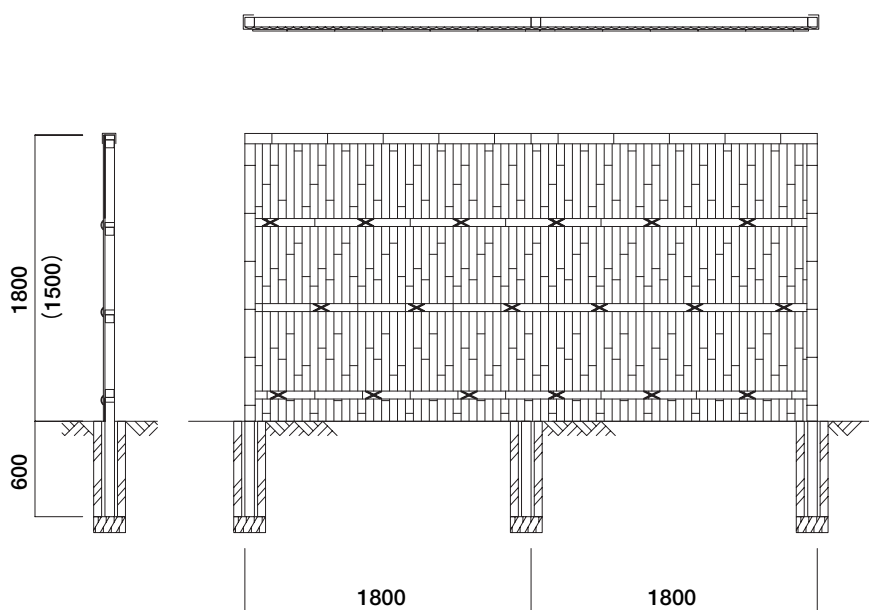


⑤ 押竹を取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×35を使用して下さい。

注:300~600mm位のピッチで止めて下さい。

注:ビス止めした上にバンロープの飾りがきますので、取付け位置に注意して下さい。但し、全てのビス上に飾りがくるわけではありません。

■完成予想図



⑥ 角竹を両小口及び笠部を取付けて下さい。取付けは、ステンビス4×25を使用して下さい。

注:角竹は600mm位のピッチで止めて下さい。又両小口は胴縁がある所で止めて下さい。

⑦ バンロープで飾りつけて下さい。

注:600mmピッチ位を目安に千鳥になる様飾りつけて下さい。

竹垣
ユニット

石柱
ユニット

Tユニット

SORA竹
ユニット

その他
ユニット

竹演
セット

扉

門

J/G
スタイル

サイド
エクステリア

ニュー
フェンス

ガーデン
ファニチャー

グリーン
アイテム

パネル

丸 竹

構造部材

施工図面

施工資料

品番索引

品名索引

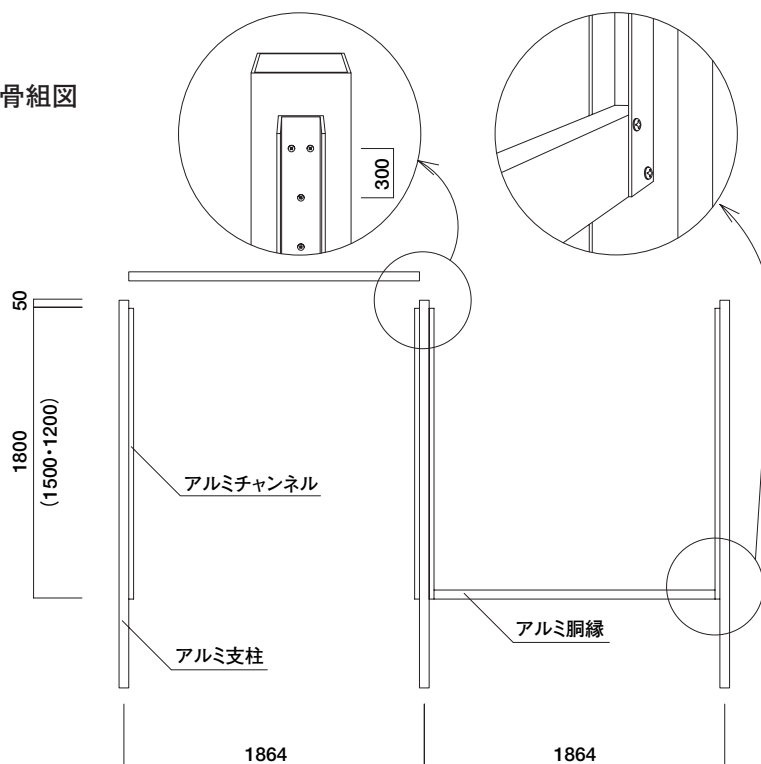
施工資料

施工説明

竹演セット13 (P80.81)

※竹演セット12.14も骨組図・丸竹取付図は同様です。

■骨組図



【竹演セット】

①アルミ支柱 (60×60)、アルミチャンネル (丸22用)、アルミ胴縁 (ブロンズ23×50) を現場に合わせてカットして下さい。

注:セットのアルミ支柱は2,400mmに、アルミ胴縁、アルミチャンネルは1,800mmにカットされています。

(H1500時、支柱2,100mmアルミチャンネル1,500mm)

②アルミ支柱中央にアルミチャンネルを取付けて下さい。取付け位置は、アルミ支柱の上から50mmさがった所からです。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。アルミ支柱をモルタル等で固定して下さい。

注:ブロンズビスで直接止めにくい場合、アルミチャンネルにドリルで下穴 (5mm) を空け、ブロンズビスで胴縁に固定して下さい。

③アルミチャンネルの溝に一番下のアルミ胴縁を取付けて下さい。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。

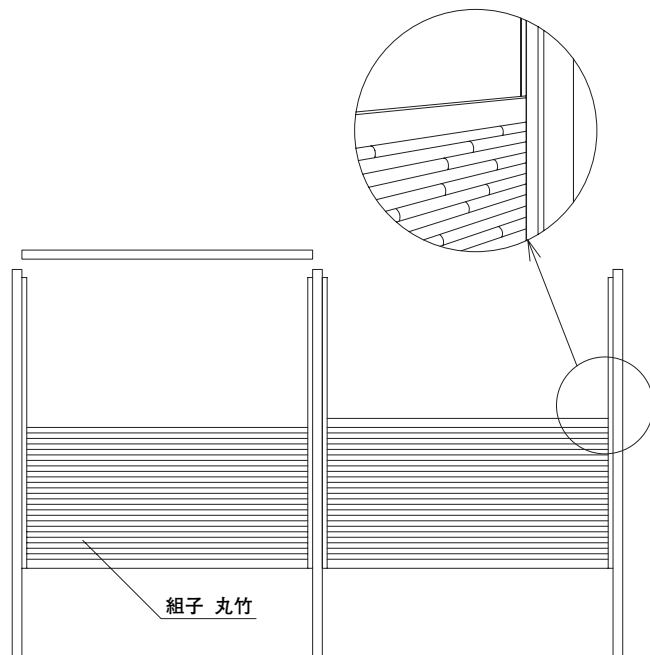
注:ブロンズビスで直接止めにくい場合、アルミチャンネルにドリルで下穴 (5mm) を空け、ブロンズビスで胴縁に固定して下さい。

注:少なくとも1ヶ所2本のビスで固定して下さい。

④組子 (丸竹22φ) と立子 (50半割) をカットします。組子はアルミ胴縁の長さより10mm短く、立子は竹垣の高さより30mm長く (H1800、1500時) カットして下さい。

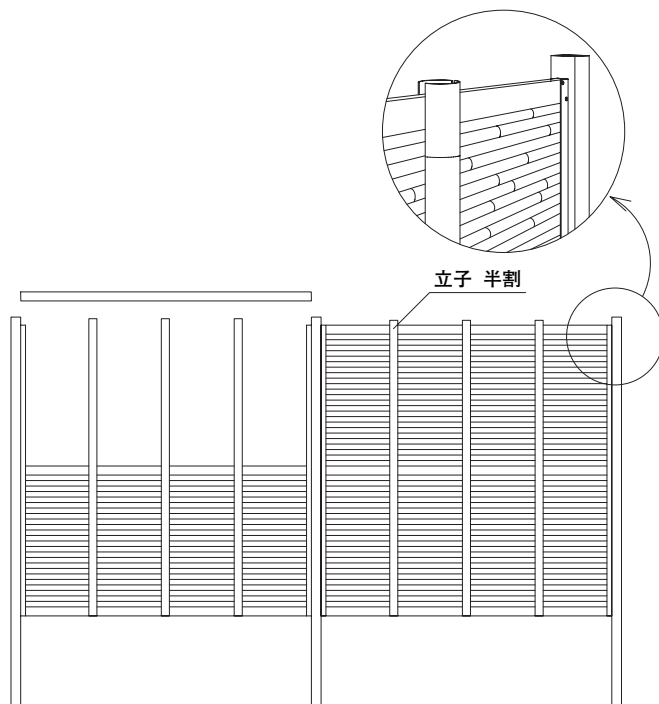
注:セットの組子及び立子は定尺にカットされています。

■組立図



※竹演セットのアルミ部材や竹材料は、融通性を持たせるため、穴あけ加工は施されていません。現地にて加工してください。

■立子取付図



⑤アルミチャンネルの溝に組子を入れていきます。中程まで入れたらアルミ胴縁を入れて下さい。但し、H1200はアルミ胴縁が中間には入りません。

注:この時点では、アルミ胴縁をビスで固定しないで下さい。

注:組子を入れていく時に立子で締めながら竹を入れていく方が作業性が良いです。

⑥立子の一番下はアルミ胴縁にイエロービス4×40で固定します。組子を入れ立子で前後から挟み込み銅線にて締めつけて下さい。組子がきれいに納め終わったらアルミ胴縁を取付けて下さい。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。

注:ブロンズビスで直接止めにくい場合、アルミチャンネルにドリルで下穴(5mm)を空け、ブロンズビスで胴縁に固定して下さい。

注:少なくとも1ヶ所2本のビスで固定して下さい。

注:約220mmピッチで銅線で締めていきますが、銅線の上にバンロープで飾り付けしますので、銅線の位置にも注意を払って下さい。

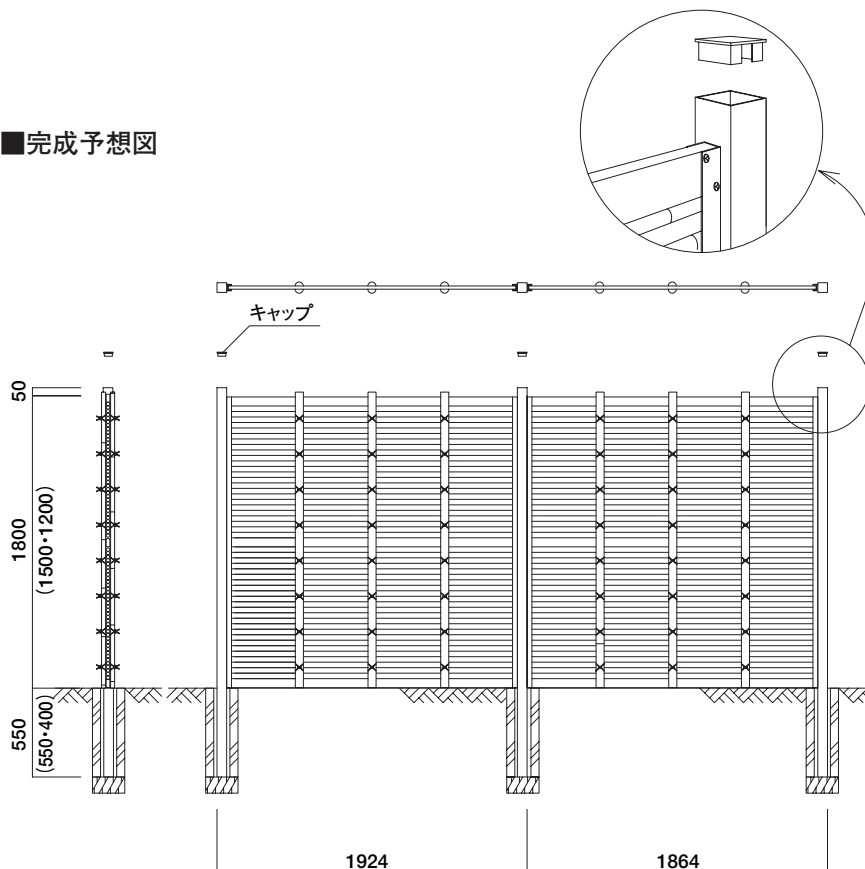
⑦バンロープで飾りつけて下さい。

注:バンロープは組子の中を通さずに、立子と組子のすき間に通し表面と裏面別々に飾り付けて下さい。

⑧アルミ支柱にキャップをはめて下さい。

※1200用はアルミ胴縁が2段です。

■完成予想図

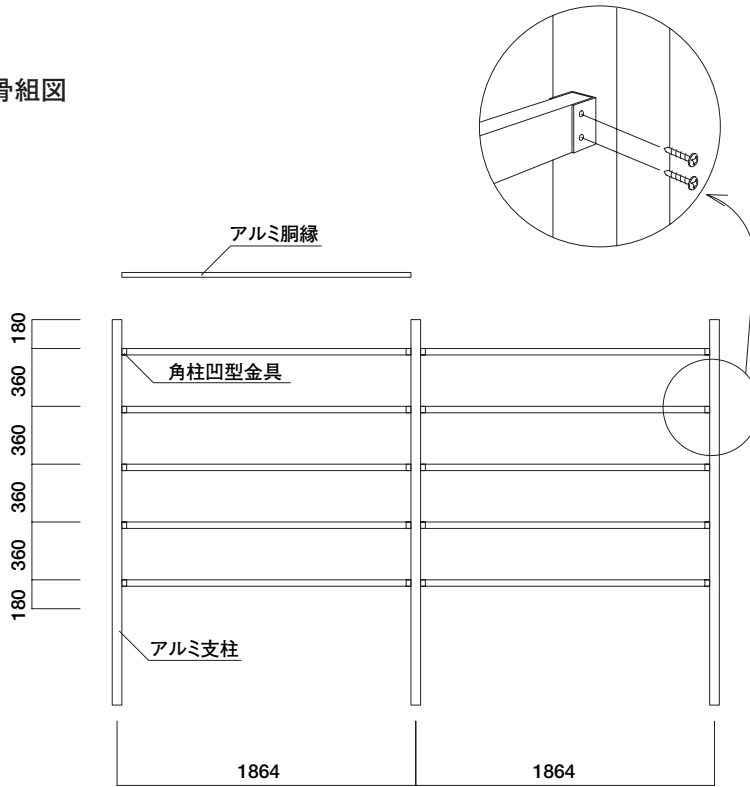


施工資料

施工説明

竹演セット17 (P83)

■骨組図



【竹演セット】

①アルミ支柱(60×60)、アルミ胴縁(23×40)を現場に合わせてカットしてください。

注:セットのアルミ支柱は2,400mmに、アルミ胴縁は1,800mmにカットされています。

②アルミ支柱中央に角柱凹型金具を取付けて下さい。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。アルミ支柱をモルタル等で固定して下さい。

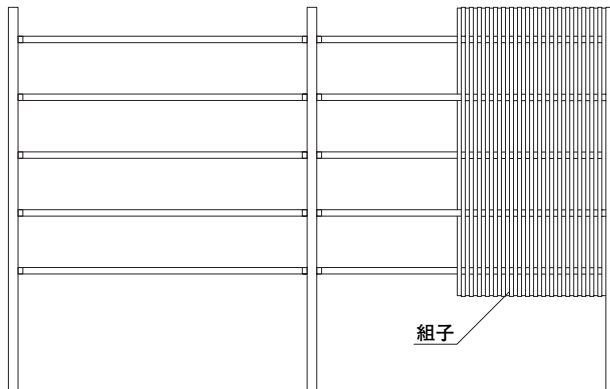
③ステン止金具の溝に、アルミ胴縁を取付けて下さい。取付けは、ブロンズビス4×16を使用して下さい。

④組子(丸竹13φ)と押竹をカットして下さい。
注:組子は竹垣の高さにより曲がり寸法分長くカットして下さい。曲がり寸法はH1800の場合約30mmです。押竹はアルミ支柱間の長さにカットします。

注:セットの組子及び押竹は定尺にカットされています。

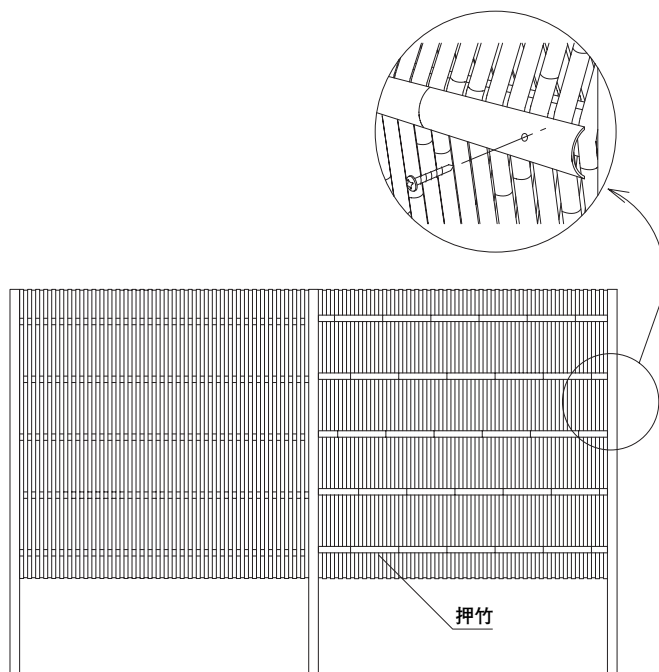
⑤組子を1本ずつ交互に曲げながら収めて下さい。

■組立図



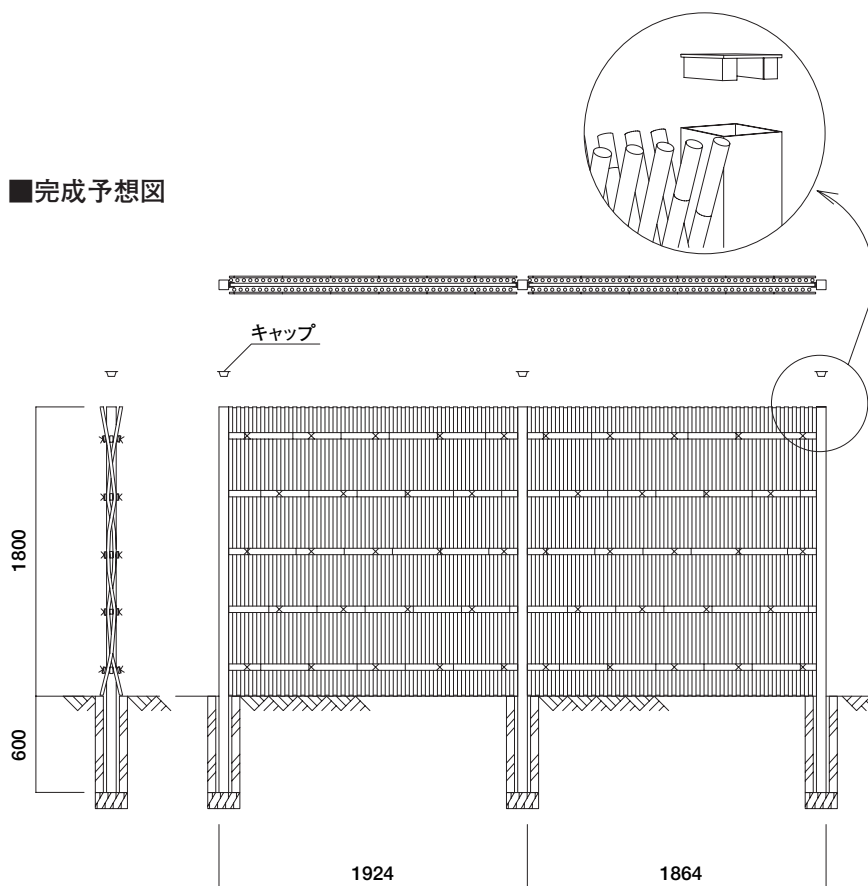
※竹演セットのアルミ部材や竹材料は、融通性を持たせるため、穴あけ加工は施されていません。現地にて加工してください。

■押竹取付図



- ⑥ 押竹の取付けをします。取付けビスは、ステンビス4×45を使用して下さい。
注:300~600mm位のピッチで止めて下さい。
注:ビス止めた上にバンロープの飾りがきますので、取付け位置に注意して下さい。但し、全てのビスの上に飾りがくるわけではありません。

■完成予想図



- ⑦ バンロープで飾りつけて下さい。
注:600mmピッチ位を目安に千鳥になる様飾り付けて下さい。
- ⑧ アルミ支柱にキャップをはめて下さい。

竹垣
ユニット

石柱
ユニット

Tユニット

SORA竹
ユニット

その他
ユニット

竹演
セット

扉

門

J/G
スタイル

サイド
エクステリア

ニュー
フェンス

ガーデン
ファニチャー

グリーン
アイテム

パネル

丸 竹

構造部材

施工図面

施工資料

品番索引

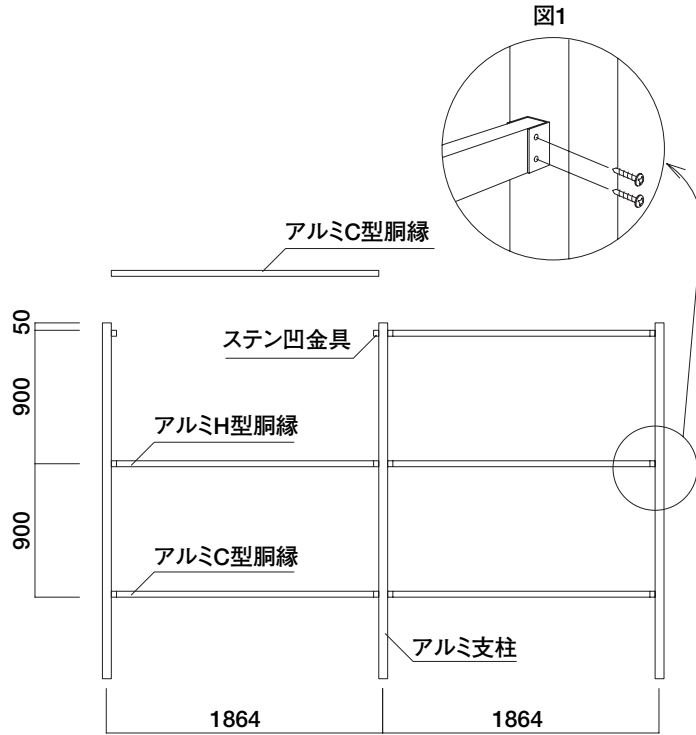
品名索引

施工資料

施工説明

竹演セット19 (P85)

■骨組図



【竹演セット】

①アルミ支柱 (60×60) アルミC型胴縁、H型胴縁を現場に合わせてカットして下さい。

②アルミ支柱中央にステン凹金具を取付けて下さい。取付けはブロンズビス4×16 (サラビス) を使用して下さい。アルミ支柱をモルタル等で固定して下さい。

③ステン凹金具の溝にアルミC型・H型胴縁を取付けて下さい。取付けはブロンズビス4×16 (ナベビス) を使用して下さい。

※図1参照

④組子 (丸竹22φ) と押竹 (50縦割) をカットして下さい。

※図2参照

注:組子は図2の内々サイズのマイナス5mmにカットして下さい。押竹はアルミ支柱間の長さにカットして下さい。
注:竹演19セットの組子及び押竹は定尺にカットされています。(H1800時:865mmでカットされています。)

⑤組子を端部にはめます。この時ステン凹金具のビスが出てはまらない為、一度ステン凹金具のビス4×16をはずして、竹をはめ込み再度ビス止めて下さい。※図3参照

⑥残りの組子をはめて下さい。はめにくい場合は組子をしながら (曲げて) はめ込んで下さい。

⑦組子のたれ防止の為、ブロンズビス (4×16) で上下3ヶ所ずつ竹を引っ張って下さい。※図4参照

手順 ①一番上部の胴縁にビス①を止める

②一番下部の胴縁を持ち上げながら、ビス②を止める

③同様にビス③④を止める

※胴縁が水平になるように持ち上げてビス止めて下さい。

図2

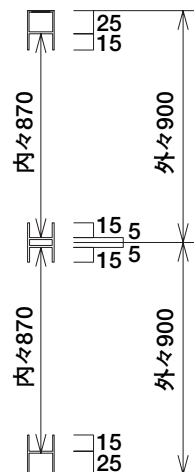


図3

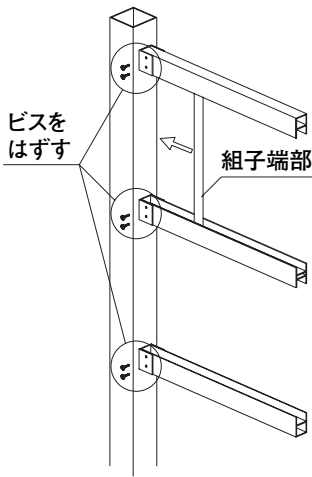
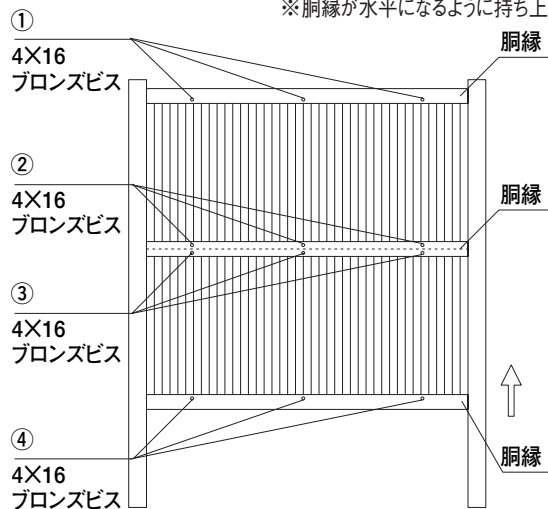
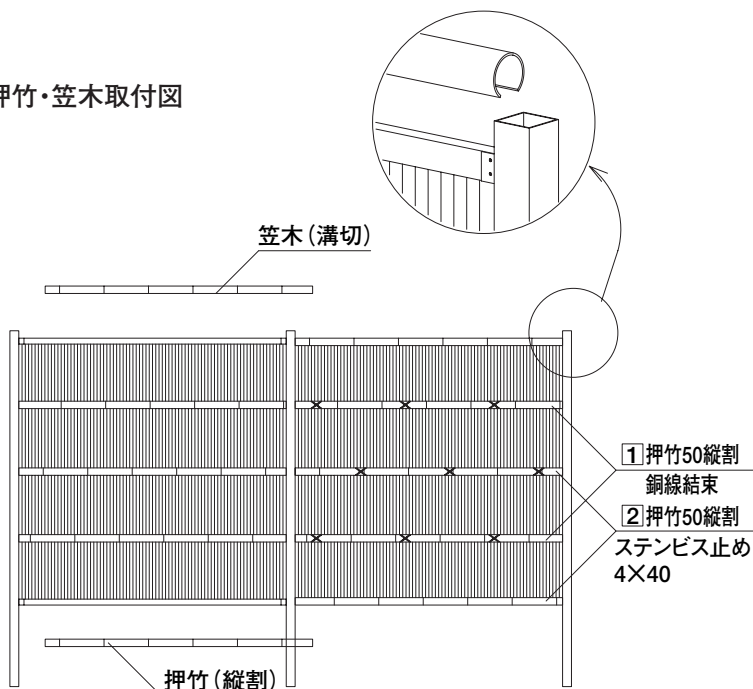


図4

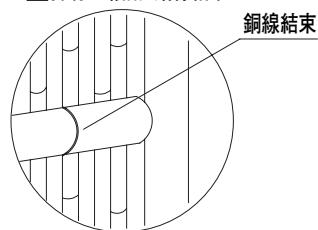


※竹演セットのアルミ部材や竹材料は、融通性を持たせるため、穴あけ加工は施されていません。現地にて加工してください。

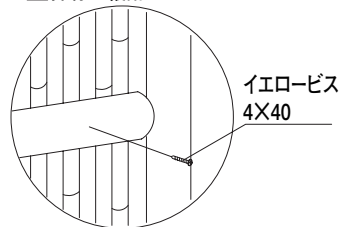
■押竹・笠木取付図



① 押竹50縦割 銅線結束



② 押竹50縦割 ビス止め



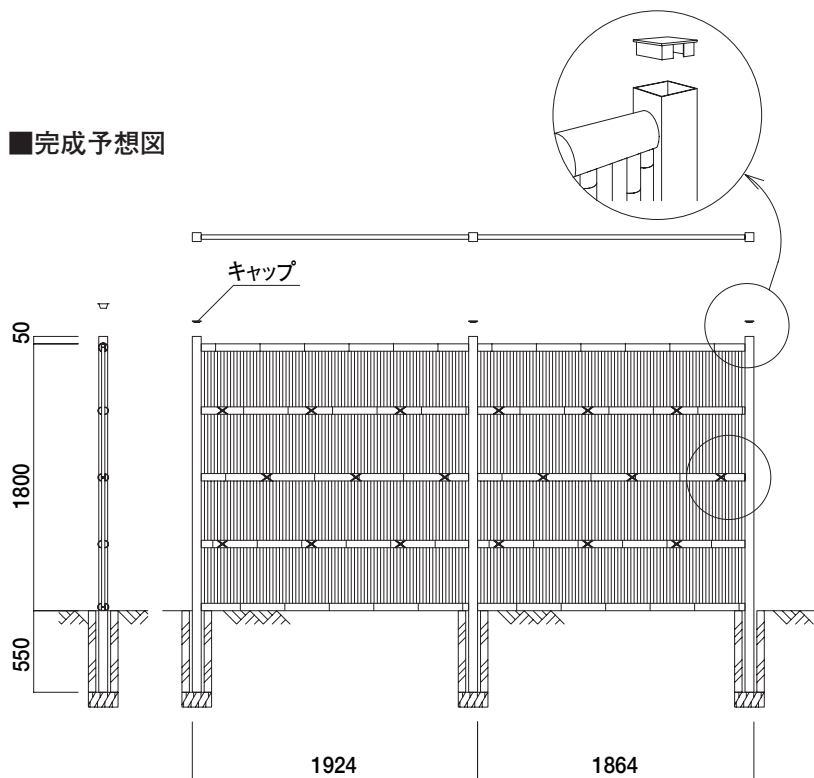
⑧ 押竹 (50縦割) を ① 銅線結束、② ステンビス4×40止めに取付けて下さい。

※① の銅線は、バンロープを結び位置 (約600ピッチ) の所で結束して下さい。

② のビスはバンロープを結ぶ位置で止めて下さい。

※バンロープは千鳥になる様に結んで下さい。

■完成予想図



⑨ 笠木溝切63φを上から取付けて下さい。取付けはステンビス4×25を使用して下さい。

注:600mm位のピッチで止めて下さい。

⑩バンロープで飾り付けて下さい

注:600mmピッチ位を目安に千鳥になるように飾り付けて下さい。

注:カタログのバンロープの結び方参照

注:真ん中部分は、H型胴縁がある為、一度押さえるビスをゆるめてバンロープを通して結び、再度ビス止めて下さい。

⑪アルミ支柱にキャップをはめて下さい。